

授業科目

英語I [今井 理恵 (金曜1限SW)]

担当教員名 今井 理恵	対象学年	1	対象学科	社会
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	◎	◎	○	◎

授業の概要

「現代の食をめぐる話題」と「英米の伝統的な祝祭と食文化」を幅広く取りあげた教材を用いて、保健・医療・福祉・スポーツに関する共通のテーマを学ぶとともに、英語の4技能の伸長をはかる。

授業の目的

1. English for Specific Purpose(ESP)の視点から、学習者が意欲を持って学ぶため。
2. 近年の英語学習を取り巻くグローバル化に伴い、外国人との情報交換、外国への観光旅行や留学などの可能性が、特定の分野にかかわらずいずれの分野でも増しているため。そのような状況に備え、専門教育を主とする学科の特色が一層生かされるよう、また、社会の変化に対応し、学生一人一人の興味・関心、能力・適性等を一層伸長するため。
3. いずれの専門分野においても、生涯にわたって、自ら外国語を学び、使おうとする積極的な態度を養い、自律的な学習者となるため。
4. 実社会において対応すべき課題は知識・理解にとどまるものは少なく、多くは、読んだことや聞いたことに応える(話す、書く)必要があるため。真正の場面、真正の課題に対応するため

学習目標

1. 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、各専門分野にかかわる情報や考え(自他の意見・判断)を的確に理解したり適切に伝えたりする能力を一層伸ばし、社会生活において活用できるようにする。
2. 上記各分野における専門の基礎的な語彙や表現を学習する。
3. 授業では主に、学習者が主体的学習・問題解決型学習に取り組む。
4. 知識及び技能の習得のみに終わらせず、学習者は思考力・判断力・表現力が問われる「パフォーマンス課題」に取り組む。
5. 英語の4技能のうち「理解する能力(聞くこと、読むこと)」を「表現する能力(話すこと、書くこと)」に有機的に関連付けた活動を求める「パフォーマンス課題」を通して、4技能をバランスよく習得する。
6. 視聴覚教材やコンピュータ、情報通信ネットワークなどを有効に活用して基本的な言語活動を実際に体験する。
7. 省察的学習を助ける「ポートフォリオ」を活用する。
8. 辞書の活用、図書館やインターネットなどを広く利用するなど学習の仕方(Study Skills)を学ぶ。
9. ペア・ワーク、グループ・ワークに適宜取り組み、協同学習に積極的に参加する。
10. 自分の能力・適性や興味・関心に応じた個別学習の機会を授業内外で拡大する。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	Unit 1: Counting Calories (1)	Conversation & Exercise, Reading & Exercise	今井 理恵
2	Unit 1: Counting Calories (2)	Conversation & Exercise, Reading & Exercise	今井 理恵
3	Unit 2: A New Sports Tradition (1)	Conversation & Exercise, Reading & Exercise	今井 理恵
4	Unit 2: A New Sports Tradition (2)	Conversation & Exercise, Reading & Exercise	今井 理恵
5	Unit 3: As American as Apple Pie (1)	Conversation & Exercise, Reading & Exercise	今井 理恵
6	Unit 3: As American as Apple Pie (2)	Conversation & Exercise, Reading & Exercise	今井 理恵
7	Unit 4: Use as Directed (1)	Conversation & Exercise, Reading & Exercise	今井 理恵
8	まとめ	Conversation & Exercise, Reading & Exercise	今井 理恵
9	Unit 4: Use as Directed (2)	Conversation & Exercise, Reading & Exercise	今井 理恵
10	Unit 5: The End of Home Cooking? (1)	Conversation & Exercise, Reading & Exercise	今井 理恵
11	Unit 5: The End of Home Cooking? (2)	Conversation & Exercise, Reading & Exercise	今井 理恵
12	Unit 6: Just Follow the Recipe (1)	Conversation & Exercise, Reading & Exercise	今井 理恵
13	Unit 6: Just Follow the Recipe (2)	Conversation & Exercise, Reading & Exercise	今井 理恵
14	Unit 7: Supplemental Health (1)	Conversation & Exercise, Reading & Exercise	今井 理恵
15	まとめ (2)	Conversation & Exercise, Reading & Exercise	今井 理恵

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	Food for Thought-Eating for Health and Happiness	Shinobu Sunaga、Rie Suzuki、Shintaro Sekine 他	南雲堂	2010年	1,700円 +税	
参考書						
その他の資料	パフォーマンスワークシート、ポートフォリオ					授業時に適宜配布する

評価方法

- 1.中間テスト・期末テスト：筆記により、知識・理解を確認する。（40）
- 2.パフォーマンス評価：実際に習得した知識・技能を使って、課題を遂行できるか確かめる。（30）
- 3.課題の提出：実際に仕上げたパフォーマンス作品（ライティングの英語による作文・レポート、スピーキングの音声や映像など）のできばえを判定する。（20）
- 4.ポートフォリオの提出：自分の学習の軌跡について、自己評価するとともに、評価者（担当教員）に伝える。（10）

履修上の留意点

- ・上記2、3、4については、授業にてその都度め切を示すため、上記評価方法に対応するには毎時間の授業出席が大前提となる。さらに、上記2においては、付け焼刃で行うことは不可能であり、学習者本人が取り組まなければならないため、授業出席に重点を置く意識が求められる。
- ・その他は、授業時に示す。

オフィスアワー・連絡先

授業時に示す。